



鹿児島市下田町の農園で17日、小水力発電の電気を舞台照明に使ったジャンベコンサートがあった。鹿児島大の学生8人が、地元住民ら約50人が見守る中、迫力ある演奏を披露した。

同大の小水力発電は、広島県のポンプ製造業者

小水力発電知って

鹿大生コンサート

舞台照明に活用

と共同で取り組んでいる。同農園では農業用用水路から畠までの落差5㍍を利用。小型発電機の水車を回し、130ワットを発電している。

コンサートは小水力発電について広く知つてもらおうと企画。会場には発電システムの説明もあり、参加者は必要な水量や出力などを質問していた。

近くの新地久美さん(78)は「こうした小さな取り組みの積み重ねで自然エネルギーが普及していくのを期待したい」と話した。

鹿大チームは、別の市内2カ所でも実験を計画。下田町では今後、小水力発電による街灯設置を検討する。

小水力発電による照明の下で演奏する鹿児島大学生

鹿児島市下田町